

おのれが船になれ、風になれ、潮になれ。

「みな人ぞ！」

わしは日本とオロシアの間を

平らかにするつもりだ」

おのれの船の沖

【わらび座全国公演】

歴史の上に

新しい時を刻んだ男

高田屋嘉兵衛。

茨木出身のジェームス三木が
心をこめて市民におくる——

（財）茨木市文化振興財団第26回公演

2000年

2/26【土】 18:30 開演

(18:00開場／20:50終演予定)

茨木市市民会館大ホール

茨木市駅前四丁目7番50号

(JR茨木駅から東へ徒歩10分 阪急茨木市駅から西へ徒歩10分)

【原作】
司馬遼太郎

(文芸春秋刊より)

【脚本・演出】

ジェームス三木

【美術】

妹尾河童

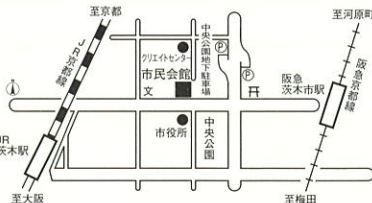
淡路島出身の回船業者・高田屋嘉兵衛の
情熱と友情のものがたり

■入場料 [全席指定席]
一般：1階席＝4,000円 2階席＝3,000円
65歳以上、24歳以下、障害者及びその介護者
：1階席＝2,500円 2階席＝2,000円
※この取り扱いは文化振興財団のみです。

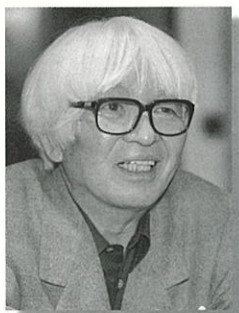
※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

■チケットの取り扱い [12月13日(月)発売]
（財）茨木市文化振興財団 ☎0726-25-3055
ローソン・チケット ☎06-6369-6633 [Lコード=58136]
チケットぴあ ☎06-6363-9999

※ローソン、ぴあでは、65歳以上等の割引券の取扱いはありません。



紫の花の沖



原作◎司馬遼太郎
(写真提供:朝日新聞 長谷忠彦)

人は人なりに「大将、ウラー!」ということがあるといいですね。あの瞬間がおれの人生だったという思い出を持つかどうか、大事だと思います。

【スタッフ】脚本・演出◎ジェームス三木
音楽◎飯島優
振付◎菊池正平
美術◎妹尾河童
照明◎勝柴次朗
企画制作◎劇団わらび座

ここで描かれているのは個人の情熱だと思います。

脚本・演出◎ジェームス三木



全6巻読みまして、どこをドラマにするか大変苦心致しました。嘉兵衛はどういう人か。ロシアとの民間外交を一人でやってのけた人、そこに絞りました。

嘉兵衛はロシアのリコルド艦長ととっても仲良くなって、人格的にも影響し合っていくという友情の話があるのです。国と国の話が個人の友情によって代表される、大変ステキなことです。

ここで描かれているのは、個人の情熱だと思います。

「日本人はどう生きるか」。それが今私たちが嘉兵衛から学べるのではないかと思うので、そこを強調してドラマを書いたつもりです。



美術◎妹尾河童

舞台の上に、嘉兵衛が挑んだ海の広大さが表現できればいいなと思ってます。

大将 万歳
「タイショウ、ウラー!」
純白の帆が風をはらみ、
人びとの歓声が湧き起こる



【あらすじ】

1812年、江戸時代末期、北の海を拓く回船業者・高田屋嘉兵衛は、ロシアの軍艦に突然とらえられる。近年、日本とロシアの間で起こった事件解決のため、その人質とされたのだ。

異国ロシアでの拘留生活が生む苦悩と葛藤、仲間の死。しかし嘉兵衛は、これまでの人生の中でつちかった「みな人ぞ」の精神で、ロシア人たちと接し、互いの心の壁を溶かしてゆく。そして嘉兵衛はリコルド少佐といつしか強い信頼で結ばれるようになり、こじれきった日露の橋渡しを自ら担おうと決意する。

幕府との交渉のため日本へ発つ日、甲板で鈴なりのロシア人船員たちがいっせいに声をあげる。「タイショウ、ウラー!」嘉兵衛は荒波の交渉へと乗り出していく――。



高田屋嘉兵衛◎安達和平



リコルド◎近藤 進



嘉兵衛の妻ふさ◎丸山有子



わらび座

全国公演営業部

〒014-1192
秋田県仙北郡田沢湖町卒田字早稲田430
TEL.0187-44-3316 FAX.0187-44-3318
●インターネットでのご案内 <http://www.warabi.or.jp/>